

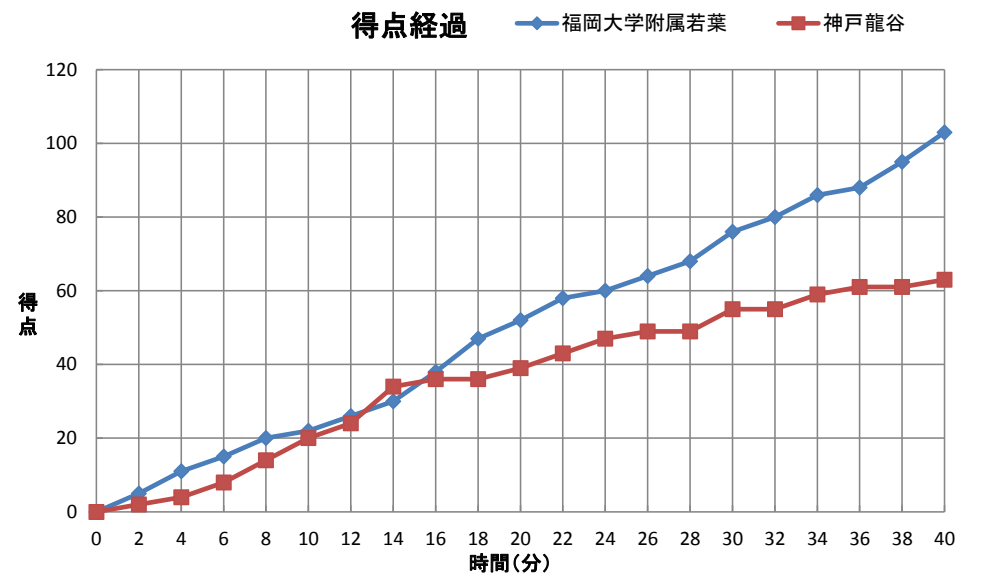


平成27年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技大会
第68回全国高等学校バスケットボール選手権大会

個人トータル表

女 子								平成27年7月29日 14:30 開始							
1 回戦								京都学園大学 J							
◎ 福岡大学附属若葉 103 (福岡県)								63 神戸龍谷 (兵庫県)							
22 1st 20 30 2nd 19 24 3rd 16 27 4th 8															
番号	氏 名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏 名	得点	3P	2P	FT	反則		
* 4	永野 倫后	9	1	3	0	0	* 4	菰方 智恵子	10	0	5	0	1		
* 5	内尾 聡菜	24	0	12	0	3	5	榊原 怜奈	0	0	0	0	0		
6	福本 萌香	0	0	0	0	0	* 6	藤田 夏生	15	2	4	1	1		
* 7	渡辺 満里奈	26	0	11	4	3	* 7	岡田 あず	18	2	6	0	4		
8	笠井 桜可	0	0	0	0	0	8	小西 楓	2	0	1	0	0		
9	嘉数 唯	0	0	0	0	0	9	徳満 由起	2	0	1	0	1		
10	中嶋 まひろ	3	1	0	0	0	10	湊 仁美	0	0	0	0	1		
* 11	三輪 眞子	14	4	1	0	0	11	白川 祐香	8	0	2	4	3		
12	鬼塚 彩乃	8	0	4	0	0	12	森下 晴香	4	0	2	0	1		
13	篠原 愛華	5	0	2	1	1	* 13	松崎 光	2	0	1	0	3		
14	沼野 かえで	6	0	3	0	1	* 14	小林 優来	2	0	1	0	0		
* 15	二ノ宮 可南	8	0	3	2	1	15	宮本 菜々美	0	0	0	0	0		
コーチ	池 田 憲 二					0	コーチ	榊原 啓貴					0		
Aコーチ							Aコーチ	井浪 真吾							
合 計		103	6	39	7	9	合 計		63	4	23	5	15		
主審: 加藤 始															
副審: 上田 遼馬															

得点経過



CTO	1・2P		3・4P			OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	14:15	19:05	:	:	:	:	:	:	:
TeamB	3:09	15:11	24:01	31:13	38:42	:	:	:	:

〔 戦 評 〕

Jコート第4試合は、昨年度総体ベスト8の福岡大附属若葉と下級生主体ながらも2年連続出場の兵庫県神戸龍谷のカードとなった。両チームハーフマンツールでスタートする。

第1P、福大若葉の#4ジャンプシュート、#11の3p連続ポイントで始まり、序盤は福大若葉のペース。神戸龍谷もシュート放つがなかなか決まらない。開始3分で11-2となりたまたま神戸龍谷タイムアウト。すると徐々に神戸龍谷のマッチアップディフェンスが効き始めて神戸龍谷のリズムに。終了間際のシュートも決め切り22-20と2点差まで詰め寄る。

第2P、神戸龍谷#12のジャンプシュート、#7の3pで逆転。流れは一気に神戸龍谷へ。しかしインサイドで勝る福大若葉は淡々と点を取り返す。神戸龍谷#6の3pでさらに引き離したいがすぐに福大若葉#4カウント1ショットで取り返す。一進一退の攻防が続くも、残り3分から福大若葉の連続得点で一気に引き離すと、52-39で前半を折り返す。

第3P、第2Pでのけがが心配された龍谷#4が復活。ペイントエリアをうまく使いながら神戸龍谷がぐらいつく。メンバーチェンジを多用してオールコートから仕掛け、巻き返しを図るも、福大福大若葉は冷静に得点を重ね、76-55で福大若葉がリードを広げて終了。

第4P、なんとか追いつきたい神戸龍谷、出だしが振るわず残り8でタイムアウトをとり、選手を鼓舞する。しかし福大若葉の中外、ポストポスト、さらには切り替えの早い速攻が止められない。終わってみれば103-63で福岡大付属若葉の勝利。

2年生主体の若いチームである神戸龍谷も最後まで粘り強く自分たちのバスケットを貫いたが、昨年度を上回る成績を狙う福岡大付属若葉が、多彩な攻撃で相手を終始翻弄して確実に駒を進めた。

戦評: 富山 唯

記録: 山城高校